

こども通信

寂しい春の訪れでした。自粛が求められ、イベントもなくなり、満開の桜がひっそりと咲いていました。
さて、来年はどんな気持ちで桜の花を見ることができるのでしょうか。

* * *

新型コロナの流行が拡大する中で、学校は休学になり、子どもたちは家で過ごすことになります。た。差し迫った危険といつても、目に見えるわけではなく、その必要性を理解することは難しいですね。大人が分かりやすく、繰り返し伝える必要があります。

いろいろと心配です。ストレスもたまつてくるでしょう。体を持てあまし、学力低下も気になります。自宅とはいえ、閉ざされたところに長くいることが、決して良いはずはありません。

大する中で、学校は休学になり、子どもたちは家で過ごすことになります。た。差し迫った危険といつても、目に見えるわけではなく、その必要性を理解することは難しいですね。大人が分かりやすく、繰り返し伝える必要があります。



つながります。

大人も家にこもる時間が長くなりました。いつもとは違って、子どもたちと密接な関係を作れます。一緒に本を読む、話を

朝起きて寝るまでの生活リズムを整え、一日のリズムを作りましょう。勉強の時間割をお子さんと一緒に決めるのも大切です。課題が終えるごとに達成感も、また精神的な安定につながります。

りません。

塙田こども医院

小児科・アレルギー科
上越市栄町 2-2-25
TEL 025-544-7779(代)
025-544-7779(保育室)
FAX 025-544-8456

各種ネット予約
www.0255447777.com/i
ホームページ
www.kodomo-iin.com

感染症情報

現在、感染症の大きな流行はおきていません。3月から休校が続き、子どもたちが集団生活をしていないことや、マスクや手洗いをしっかり行っていることが、新型コロナ以外の感染症の予防にもなっているのだと思います。

インフルエンザはすでに終息しました。

溶連菌感染症は若干の発生があります。発熱とともに咽頭痛が強くなる感染症で、的確な抗菌薬による治療が必要です。

感染性胃腸炎も少数ですが見かけています。小児は脱水や低血糖になりやすく、ぐったりとしている場合はすぐに受診して下さい。

R Sウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症が一部の園で集団発生があります。気管支炎、肺炎をおこす感染症で、伝染力も強く、集団発生しがちです。園での流行状況に気をつけて下さい。

風疹や麻疹の発生は当地ではありません。

新型コロナ感染症が世界的に大流行（パンデミック）になっています。日本でも首都圏などで市中感染の様相に発展。今後は地方都市でも発生が拡がってくることでしょう。日本全体に緊急事態宣言が出されています。外出は控え、自宅で過ごすように求められています。

まだワクチンもなく、迅速診断や治療薬もすぐに使える状況ではありません。対策は予防するに尽きます。かからないよう、マスク着用と手洗いをしっかりと行ってください。

ドライブスルー利用のお願い

- 待合室の混雑緩和のために、会計と薬のお渡しは仮設のドライブスルーをご利用いただけます。
- 診察が終わったあとはそれぞれの自家用車でお待ちください。用意が調いましたら、携帯電話へご案内いたします。
- 自家用車以外の方など、そのまま待合室でお待ちいただいても結構です。ご希望をお伝えください。

今月の予定

院長出務

上越市夜間診療所出勤 20日（副院長）

上越市立谷浜小学校健診 13日（延期分）

上越市立たにはま保育園健診 13日

聖母保育園健診 20日

ちびっこわくわく保育園健診 20日

上越市立有田保育園健診 27日

上越有線放送 「健康ライフ」 21日

FM上越「Dr. ジローのこども健康相談」

毎週木曜午後 1:20頃～(76.1MHz)

感染症情報（毎週）

FM上越：木曜午後 1:35頃～

上越有線放送：月曜午後 6時～（番組内）

当院の取り組み

徐々に当地にもせまつてきていた新型コロナウイルス感染症。いつも流行が始まつてもおかしくあります。今からその備えをしつかりしておく必要があります。

といつても、何をすれば良いのか、分からぬことがあります。

2009年の新型インフルエンザの際は、ワクチン開発が間に合い、抗ウイルス薬も使用できました。迅速検査もあり、「武器」は揃つていました。でも、今回は何もありません。そんな中、でも手をこまねいているわけにはいきません。開業医として何ができるか、考えてみました。

● ドライブスルーで会計・薬局

まず問題だと思ったのは、待合室の密集状態です。多くの患者さんで新型コロナを移し合つてしまふ可能性があります。また職員との間でのお互いの感染の機会もあります。

それを避けるため、まず診察前と

後はできるだけ自家用車でお待ちいただくようお願いしました。クルマが「第2の待合室」です。

さらに、会計と薬局をドライブスルーで行うことを見計画し、さっそく

実施できるよう対応しました。これにより、診察終了後はクルマに戻れます。これにより、待合室の混雑は劇的に緩和されました。

これらが可能だったのは、ほとん

どの方が自家用車で来院されているからです。それは地方都市の良い点かもしれません。

また、当院は院内処方を採用して

いるため、一つの施設で診療が完結するのも、利点になりました。

換気が不十分で密閉されている場所でクラスターが発生しやすいとも思いました。医院の中は大丈夫か

全館換気のシステムが導入されていました。医院の中は大丈夫か

いますが、設計上は通常運転で1時間に5回の換気（外気を取り入れ、室内の空気を排出）していますが、

その能力を最大にセツトしました。

経験的漢方論 (16)

新型コロナ(初期)の漢方

新型コロナウイルス感染症の治療方針は、まだ定まったものはありません。高齢者や基礎疾患を持つ方は重症化しやすく、そうなった際は入院のうえで高度な医療が必要になります。子どもたちの多くは軽症ですむようです（例外もあります）ので、対症療法、自宅安静、隔離のみを指示されることと思います。

当初政府からの指示で「発熱後4日間は自宅で過ごす」とありましたが、子どもが発熱するなど、感冒症状があれば通常は受診をするものです。症状があるけれど、医者にかららずに、市販薬のみを使い、自宅で待つというのは、親御さんとしてはなかなかできないことだと思います。

日本の医療制度は「皆保険」のもとでおこなわれ、気軽に受診できるようになっています。医療機関へのアクセスのしやすさこそ、日本の特徴であり、その最前線は当院のような開業医です。そのメリットを活かせないのは残念なことで、何とかならないものかと悩んでいます。

別項に書いたドライブスルーでの会計・薬局は、その解決法の一つです。

治療内容についても、初期や軽症例には漢方薬での治療ができるのではないかと考えています。先に流行した中国のガイドラインでは、無症状から軽症の時に、「補中益氣湯」や「十全大補湯」を用いるようにとされています。

これらは体力増強のために当院でもすでに多用している漢方薬です。免疫力を高めて、ウイルスの排除を早める効果があるとされています。

当地で実際に流行が始まつたら、こういった漢方薬も駆使し、当院でできる最大限のことを実施し、対応していくつもりでいます。

また外来がいつたん終了した時には窓を開けて、自然換気もしています。

ドアのノブなど、多くの人が手を触れる箇所は一定の時間おきにアルコールで清拭を。来院者の方々に手指消毒を促しています。

さらに、職員間でのクラスター（集団発生）が生じないようにするため、休憩時間が密集しないような配慮をしました。医師2人が「共倒れ」し

ました。も考えていました（先月に試行ずみ）。十分ではないかもしれません、休憩時間が密集しないような配慮をしました。医師2人が「共倒れ」し

も考えています。十分ではないかもしれません、休憩時間が密集しないような配慮をしました。医師2人が「共倒れ」し

も考えています（先月に試行ずみ）。十分ではないかもしれません、休憩時間が密集しないような配慮をしました。医師2人が「共倒れ」し

も考えています。十分ではないかもしれません、休憩時間が密集しないような配慮をしました。医師2人が「共倒れ」し